

～アポロから半世紀、新たな「一歩」を踏み出す君たちへ～

2026年4月11日（日本時間）、有人月飛行ミッション「アルテミスⅡ」のクルー4人を乗せた宇宙船「オリオン」が月上空を周回し、地球に無事帰還しました。有人月周回は、アポロ計画で最後の月面着陸だった1972年12月のアポロ17号以来、実に53年ぶりで、人類到達の最遠方記録を更新する歴史的な一歩となりました。当時の技術力は、現在のスマートフォン一台分にも満たない計算能力だったと言われていたのですが、人類は知恵と勇気を結集し、未知の世界を切り拓きました。

そして、その偉業から50年以上が経過した現代。人類の挑戦はさらに進化しています。かつては地球から直接見ることができず、通信も途絶えてしまうため「難攻不落」とされていた月の裏側に、探査機が着陸し、地質調査や無人探査が行われる時代がやってきました。

50年前には「夢物語」だと思われていたことが、あきらめない挑戦の結果として、今、現実のものとなっています。この事実は、私たちに一つの大切な真理を教えてくれます。それは、「人類の可能性、そして一人ひとりの可能性は無限大である」ということです。

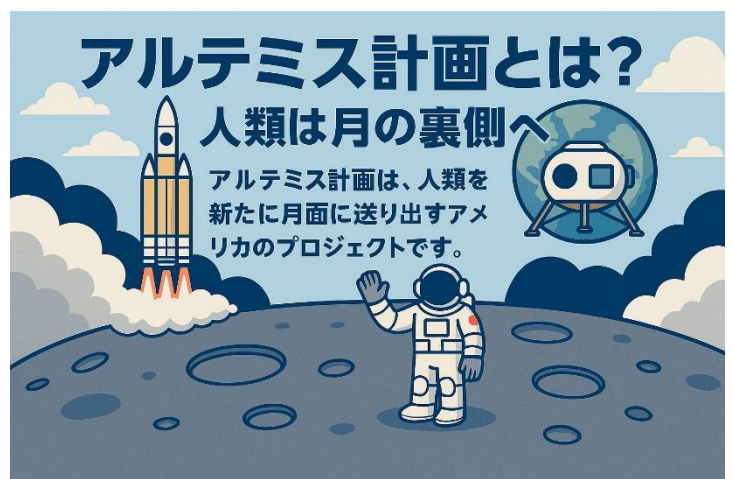
中学校生活は、新しいことの連続です。難しい数学の課題、覚えきれない英単語、思うようにいかない部活動の技術……。新しいことに挑戦すれば、必ずと言っていいほど「できないこと」に直面します。

ここで私が皆さんに、そして保護者の皆様をお願いしたいことがあります。それは、できないことを責めるのではなく、できたことを褒めるという姿勢を大切にしてほしいということです。

アポロ計画も、最初からすべてが順調だったわけではありません。数えきれないほどの失敗と、シミュレーションのやり直しがありました。もし、科学者たちが「なぜできないんだ」と自分たちを責め、そこで立ち止まってしまったら、人類が月を見る目は今も変わっていなかったでしょう。彼らは「何が課題か」を見極め、昨日よりも一歩進んだ「できたこと」を積み重ねることで、月へと到達したのです。

人間は、自分の足りない部分や欠点に目が向きやすい生き物です。テストの点数が悪かったとき、試合でミスをしたとき、「自分はダメだ」と責めてしまうこともあるかもしれません。しかし、自分を責めるエネルギーからは、新しい挑戦の勇気は生まれにくいものです。「昨日は解けなかった問題が、今日は自力で解くことができた」「大きな声で挨拶を返せた」「友達のいいところを見つけられた」など、どんなに小さなことでも構いません。まずは自分自身で、「できたこと」を見つけ、認めてあげてください。自己肯定感という心のガソリンが満たされて初めて、人は「次はもっと難しいことに挑戦してみよう」という意欲を持つことができます。最初から無理だと決めつけず、自分の可能性を信じてください。

学校は、失敗をしてもいい場所です。できないことを発見し、それを「できる」に変えていくプロセスを楽しむ場所です。私たち教職員は、皆さんが踏み出す「小さな一歩」を全力で応援し、共に喜びたいと考えています。





沖縄修学旅行



3年生は、4月21日（火）から23日（木）までの3日間、沖縄方面への修学旅行に行ってきました。沖縄ならではの豊かな自然や歴史、文化に触れるとともに、民泊体験や班別行動などを通して、仲間と協力する大切さを学ぶ、有意義で思い出深い3日間となりました。

1日目は、学校に集合し、バスに分乗して大阪国際空港へ向かいました。空港到着後、搭乗予定の航空機が管制トラブルのため70分遅延するとの連絡が入り、生徒たちは急な予定変更戸惑いながらも、空港内で昼食をとり、落ち着いて出発を待つことができました。最終的には、航空機の出発が約2時間遅れることとなり、予定していたコザの街歩きはやむなく取りやめとなりましたが、道の駅嘉手納に立ち寄り、沖縄の雰囲気を感じる時間を持つことができました。夕方には今帰仁村に到着し、入村式を行った後、それぞれの民泊先へと分かれていきました。

2日目は、学年全体で美ら海水族館に集合し、学級写真を撮影しました。その後は民泊班ごとに館内を見学し、沖縄の海に住む多様な生き物や雄大なジンベエザメの姿に、生徒たちは大きな感動を受けていました。見学後には再び民家さんと合流し、家庭ごとに昼食や体験活動を行いました。この日は天候にも恵まれ、汗ばむほどの陽気となり、近くの古宇利島を訪れる班も多かったようです。民家さんとの温かな交流を通して、貴重な経験を積むことができました。

3日目は、離村式を行い、民家さんへ感謝の気持ちを伝えた後、那覇市へ移動しました。この日はあいにくの雨となりましたが、那覇・国際通りでの自主研修では、お土産を買ったり昼食を食べたりと楽しい時間を過ごしました。那覇空港へは班ごとにゆいレールで移動しました。帰路の航空機には若干の遅れが出たほか、大阪国際空港から学校へ戻る際にも渋滞の影響を受け、学校到着が予定より遅くなりましたが、保護者の皆様の温かいご理解とご協力のおかげで、無事に修学旅行を終えることができました。

今回の修学旅行で得た経験や学びを、今後の学校生活にしっかりと生かして欲しいと願っています。保護者の皆様には、事前の準備から当日の対応まで、様々なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



1日目 大阪国際空港での集合



2日目 古宇利島散策



3日目 離村式の後

5月の主な予定

1日（金）	3年生 保護者懇談会（希望者）
7日（木）	学力・学習状況調査（英：話すこと）
	3年生 保護者懇談会（希望者）
8日（金）	3年生 保護者懇談会（希望者）
11日（月）	3年生 保護者懇談会（希望者）
14日（木）	中体連春季大会 1日目 （大会等のない生徒は自宅学習）
15日（金）	中体連春季大会 2日目 （大会等のない生徒は、3年生のみ登校、1・2年生は自宅学習）
21日（木）	1年生対象小学校の先生による参観
27日（水）	一斉委員会
30日（土）	生徒会サミット

新学期が始まって1か月…

新学期が始まって、1か月が経過しました。1年生もそろそろ中学校での生活リズムに慣れてきたところでしょうか。

今、ゴールデンウィークと呼ばれる大型連休に差し掛かっています。この時期は、新年度の疲れがどっと出る時期だといわれます。

学校でもお子さんの変化について注意深く見守っていますが、ご家庭でも心配なことがあれば、学校の方へご相談ください。

